

校内研修活性化 事例紹介

—ICTを活用して効率的・効果的に—

美作市立 **大原小学校**

効率的・効果的に授業を観合い語り合う風土の醸成が進む取組を取材しました

情報共有アプリを活用した校内研修の様子



大原小「山本教諭」へインタビュー

ICTを校内研修に活用してよかったことは、研修の効率化や協議内容の「見える化」により学びに深まりが感じられたことです。また、ICTによる事前のお知らせ、共同編集などで限られた時間を有効に活用することができていると実感しています。以前の研修の際は、模造紙やペンを担当が用意していましたが、その必要がなくなり、準備も楽になりました。



活性化ポイント①

「板書を撮影してWebアップ」



【板書を撮影】

国語科や算数科の授業を中心に毎時間板書を撮影し、Googleクラスルーム上に提示しています。子どもや教師、保護者がいつでもどこでも板書内容の確認ができます。



【廊下に掲示】

板書の写真を印刷し、教室前廊下壁面に掲示しています。該当学年の子どもたちの復習のためだけでなく、他学年の子どもへの学習刺激にもなっています。

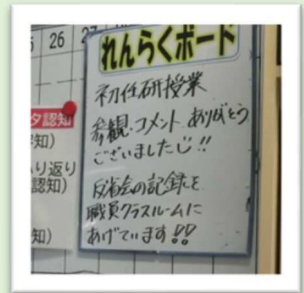
活性化ポイント②

「授業記録を手軽に共有」



【デジタルで効率的に】

クラウド上で共有された授業の様子等を見学玄関横に設置したモニターに毎日投影することで、子どもや教師、学校を訪れる方々ともタイムリーな話題が共有されています。



【アナログも活用】

ホワイトボードで手軽に呼びかけ、初任者の研究授業への参加を促しています。その際に行われた研究協議会の記録は、教職員用のGoogleクラスルーム上で共有されています。



大原小では、終礼も上手に活用し時間を生み出す工夫をしています。業務連絡に加え、授業に関する工夫なども頻繁に話題に上がる等、情報共有が行われています。様々な場面で授業について語る風土が醸成されていました。



リーフレット
「授業を探究する学校」の
ダウンロードはこちら

